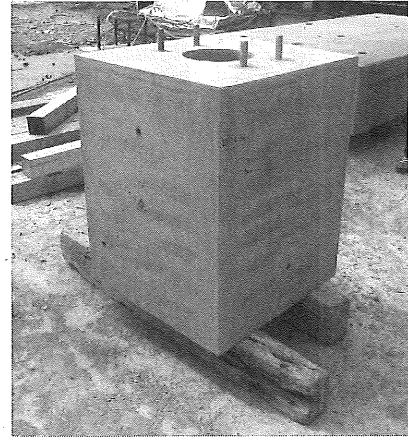


基礎コンクリブロック

防雪防風柵用を共同開発



防雪防風柵用基礎
コンクリートブロック

理研興業

【小樽】防雪防風柵のトップメーカー、理研興業(小樽市)は、このほど、コンクリート製品の総合メーカーである日本高庄コンクリート(札幌市)と、防雪防風柵用基礎コンクリ

一体性向上、コスト低減

内部の上部が表面に凹凸を施した凹形孔状、下部が台形状の空間となっており、所定の位置に配置されたアンカーボルトが台形状に突出した構造。設置後に上部凹形孔部から充填されたコンクリートが、台形状の空間内でアンカーボルトと硬化後に一体となり、上部凹形孔部表面の凹凸で付着力を増し、一体性がさらに強められる仕組みだ。

これらによって従来の基礎工法と比べ、現場溶接不要、養生期間短縮による工期短縮、作業性向上、型枠および打設に係るコスト削減が図られる。

各耐力試験を実施し、従来の基礎工と同等以上の安全性の確認と結果を得ているという。販売は両社共同で行い、国土交通省、県市町村や土木・建設会社へのPRも合同で進めていく。

理研興業では開発に当たって、コンクリート技術者を採用、防雪防風柵メーカーとして防雪防風柵に関する工学知識にとまらず、基礎工法でのコンクリート工学でも知識の蓄積を進め、発注者ならびに施工業者からのニーズに対応する方針だ。今後は防雪柵診断システムにコンクリート診断も付随し、更新時期の明確化、延命対策など関連技術の確立も推進する。

現場溶接を不要とし、工期短縮、型枠打設などによるコスト低減も可能となる。同製品は、ブロック

りートブロックを共同開発した。コンクリートとの一体性が向上、